

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年6月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県	代表者名	新田八朗
担当者部署	地方創生局ワンチームとやま推進室中山間地域対策課	連絡先電話番号	076-444-9605
担当者役職	主任	担当者氏名	小坂
住所	930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	短い時間の中で、簡潔に事業を説明していただきとても分かりやすかった。行政が負担する費用についても可能な範囲で説明していただけたので多くの参加者の疑問点も解消できていた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月7日	13時40分	14時05分		25
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 自治体職員、ドローン参入を検討又は参入している企業、団体	人数 112人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	実証実験の実施に向けて以下の項目の検討が必要。 ・市町村におけるドローン物流ニーズ調査 ・候補地の選定 ・住民説明とドローン普及活動の実施	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	実証実験を実施するのに市町村、企業の協力は不可欠。全国で初めてドローン物流を行政サービスとして導入した伊那市の取組みを講演していただき、中山間地域における買い物弱者対策としてドローン物流の可能性を伝えてもらうことで、県内においてもドローン物流が社会実装される可能性を参加者へ共有する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	第1回富山県ドローン物流勉強会での「伊那市におけるドローン物流による買い物支援サービス」についての講演	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	聴講した参加者に中山間地域における買い物弱者対策としてドローン物流の可能性を共有できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 6/9発送したアンケート様式を添付します。現在集計中(回答期限:6/18)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	実証実験を実施、ドローン物流を通して中山間地域における社会問題の解決の可能性を検討していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

